

エコアクション21

環境経営レポート

2023年度

〔活動期間：2023年7月～2024年7月〕



九建プロテック株式会社

2024年10月1日発行



目 次

1. 環境経営方針 p.1
 2. 組織の概要 p.2～3
 3. 認証・登録の対象範囲 p.4
 4. 環境経営組織図及び役割・責任・権限表 . . p.5～6
 5. 環境経営目標 p.7～8
 6. 主な環境負荷の実績 p.9～14
 7. 環境経営計画 p.15～16
 8. 環境経営計画の実施状況とその評価 p.17～19
 9. 環境経営計画の次年度取組計画 p.20～21
 10. 環境関連法規の遵守状況、訴訟の有無 . . . p.22
 11. 環境活動への取組状況 p.23～24
 12. 代表者による全体評価と見直しの結果 . . . p.25
- 

1.環境経営方針

環境経営理念

九建プロテック株式会社は、当社の企業理念である「**安心な未来をつくる**」のもとに、環境活動と建設事業活動との調和を全社員が共通認識として持ち、自主的、積極的に地球環境の保全と豊かな社会の実現を図ります。環境問題に対する継続的改善の必要性を一人一人が認識し、美しい地球を未来の子供たちに残せるよう企業の社会的責任を果たすため環境保全活動に全力で取り組んでいきます。

環境方針

- 1.事業活動の実態を踏まえ、次の事項に対して重点的に取り組みます。
 - (1)二酸化炭素排出量を削減します。
 - (2)電力使用量を削減します。
 - (3)廃棄物排出量を削減します。
 - (4)水使用量を削減します。
 - (5)建設資材は可能な限り再生品を使用します。
 - (6)グリーン購入法に適合した用品の購入を推進します。
- 2.当社の企業活動において関連する環境関連法規等を遵守する。
- 3.地域社会との連携を図り、良き企業市民として環境保全活動を積極的に実施し、地域環境の保全に貢献する。

制定日 2023年4月1日
九建プロテック株式会社
代表取締役 佐藤 大輔



2.組織の概要

- 1.事業者名 九建プロテック株式会社
- 2.代表者氏名 代表取締役 佐藤 大輔
- 3.所在地 本社：〒877-0004 大分県日田市城町1丁目3番62号
古金倉庫：〒877-0031 大分県日田市古金町1949番地
- 4.環境管理責任者 専務取締役 梶原 潤児
担当者 事務局 佐藤 純子
連絡先 TEL 0973-22-1343 FAX 0973-28-5071
E-mail info@9kenpro.com
HP <https://www.9kenpro.com>
- 5.事業の内容 特定建設業 大分県知事許可(特-2 第13068号)
土木工事業、とび・土工工事業、舗装工事業、塗装工事業、
水道施設工事業
- 6.事業の規模 創業 2009年(平成21年) 12月
資本金 2000万円
売上高(第13期：令和3年度) 560,055,730円
従業員数 14名
本社敷地面積(延床面積)_494.61㎡(362.25㎡)
古金倉庫敷地面積(延床面積)_563.00㎡(189.95㎡)
- 7.保有車両及び機械等
普通車：9台、軽自動車：1台、4tユニック車：1台
8tユニック車：1台、3tダンプトラック：1台



会社事業紹介

本社所在地



営業種目

(調査・設計・施工・管理・販売)

- 法面保護工事
- 土石対策工事
- 土木工事一式
- 防災工事一式

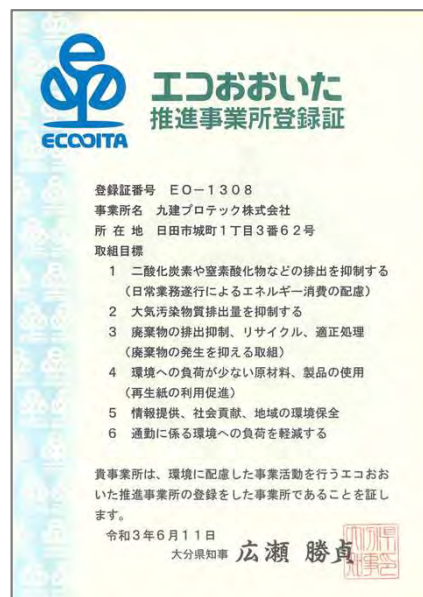
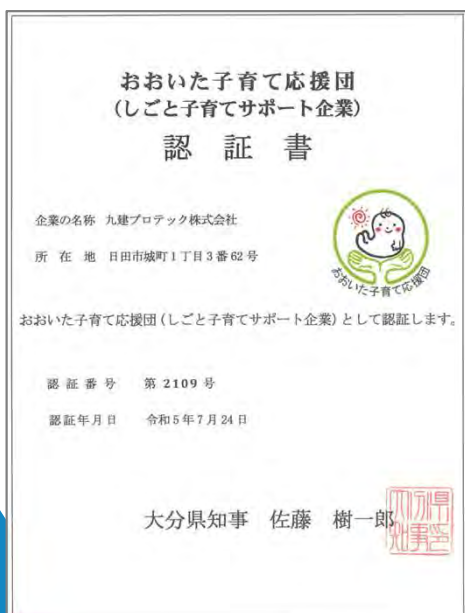
- ・ 落石予防工
- ・ 落石防護工
- ・ アンカー工
- ・ ロックボルト工
- ・ 鉄筋挿入工
- ・ 吹付工
- ・ 植生・緑化工
- ・ 無足場アンカー工
- ・ 各種斜面安全対策工
- ・ 高エネルギー吸収防護工



令和5年3月に
くるみん認定を
取得しました。



令和5年7月
おおいた子育て
応援団認定



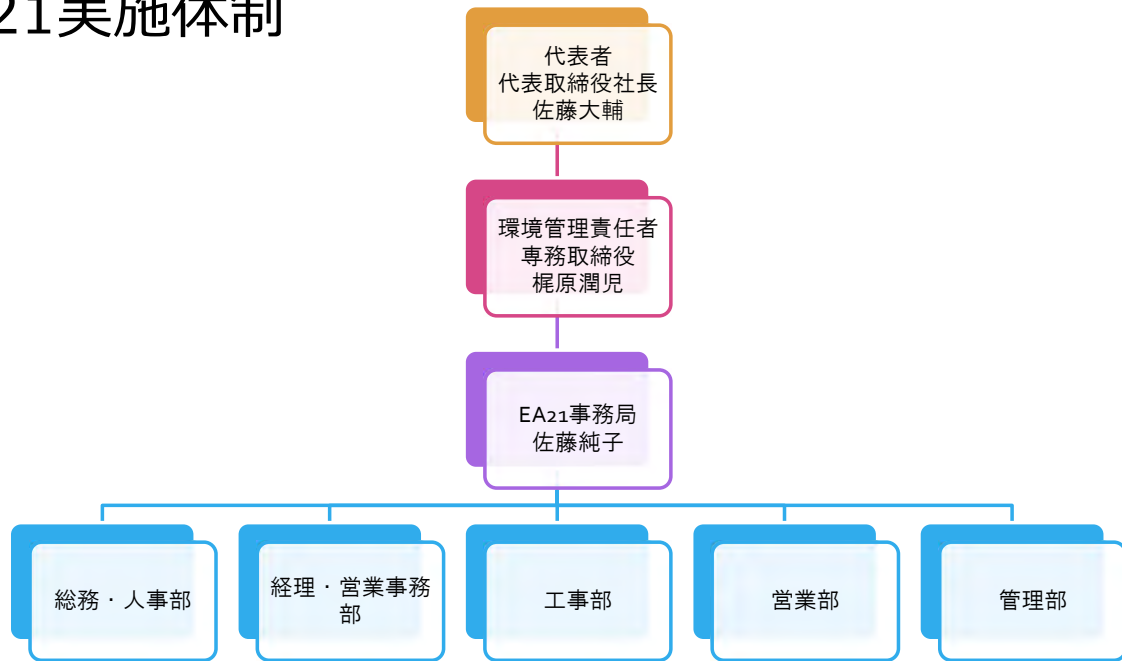
令和3年6月
エコおおいた
推進事業所登録

3.認証・登録の対象範囲

- 1.対象組織 本社
 古金倉庫
- 2.対象活動 [対象]土木工事業、とび・土工工事業
- 3.対象外事業所 無(全組織・全活動を対象とする)

4.環境経営組織図及び 役割・責任・権限表

EA21実施体制



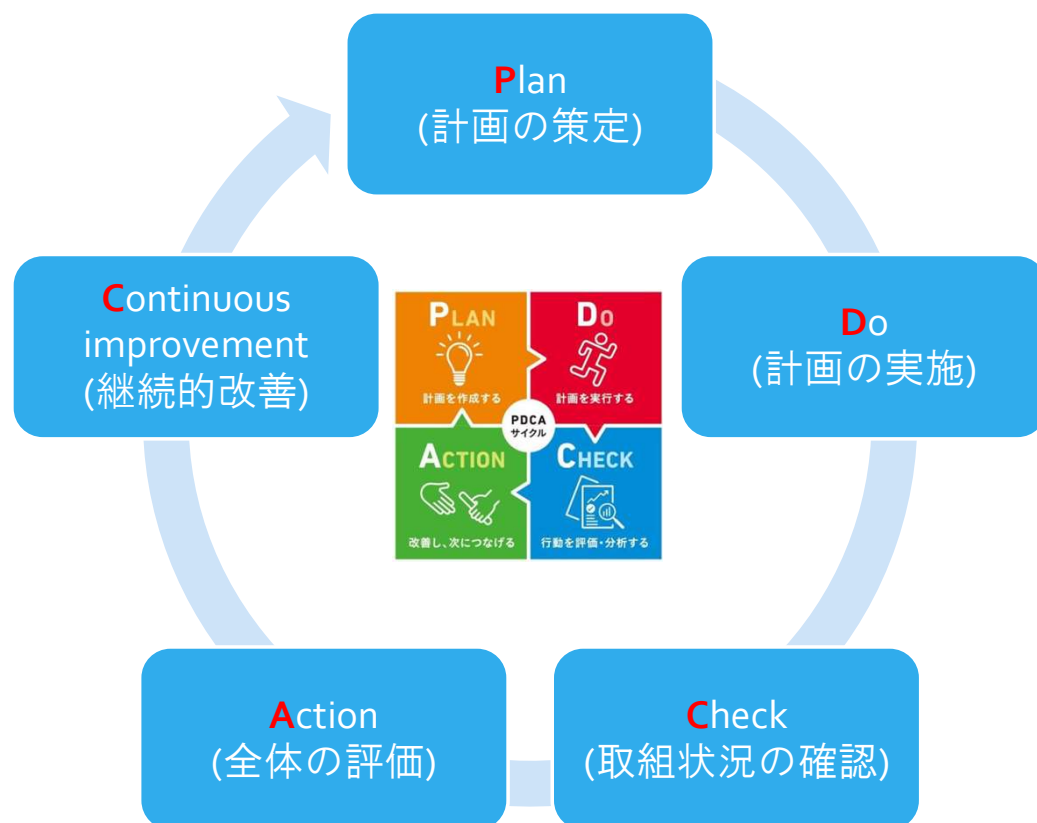
役割・責任・権限

所 属	内 容
・ 代表者	・ 代表者として環境経営全般について責任と権限を持つ。 ・ 環境経営方針を作成し見直しなど従業員に周知する。 ・ 環境管理責任者及び E A 2 1 事務局員を任命する。 ・ 環境への取組を実施するための資源（人・物資・資金）を準備する。 ・ E A 2 1 全体の取組状況に関し評価及び見直しを指示する。
・ 環境管理責任者	・ E A 2 1 ガイドラインの要求事項を満たす環境経営システムを構築し、実行するなど環境実績を向上させる。 ・ 環境経営目標及び環境経営活動計画を作成する。 ・ 3カ月毎に E A 2 1 委員会を開催して、環境目標の達成状況及び環境活動計画の実行状況を確認・評価する。 ・ 社内全体に関連する緊急事態への準備及び対応の訓練を実施する。 ・ 上記の結果を代表者に報告する。
・ EA21事務局	・ 環境管理責任者を補佐し、E A 2 1 文書及び記録類、及び基礎データの作成・維持・集計・管理を行う。 ・ 社外からの環境情報の収集と伝達を行う。
・ 部門長	・ 環境経営方針、自部門の環境経営目標、環境経営活動計画を部門全員に周知する。 ・ 環境経営目標達成のため、責任を持って自部門の環境経営活動を推進する。 ・ 自部門で発生した問題点の是正処置、予防処置を実施する。 ・ 自部門に関連する法規制等を遵守する。 ・ 自部門の教育・訓練を実施する。
・ 全従業員	・ 環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚する ・ 決められた担当の役割や責任を理解し、自から積極的に環境活動へ参加する。

環境マネジメントサイクル

◇ 当社では環境経営を推進していくため毎年環境活動計画を立て、1年毎に取組状況の確認と見直しを行い、環境管理責任者を中心に、継続的な運営と改善を目指し、全社員で取組みます。

◇ 取組状況については、環境経営レポートとしてまとめています。



環境経営のPDCAサイクル

計 画 の 策 定		担当責任者	対 象
Plan	・ 取り組みの対象組織・活動の明確化 ・ 環境経営方針の策定 ・ 環境負荷と環境への取組状況の把握及び評価 ・ 環境関連法規等の取りまとめ ・ 環境目標及び環境活動計画の策定	環境管理責任者 代表者 環境管理責任者 環境管理責任者 環境管理責任者	各現場・事務所 各現場・事務所 各現場・事務所 各現場・事務所 各現場・事務所
Do	・ 実施体制の構築 ・ 教育・訓練の実施 ・ 環境コミュニケーションの実施 ・ 環境上の緊急事態への準備及び対応 ・ 環境関連文書及び記録の作成・管理	環境管理責任者 各部門長 各部門長 環境管理責任者 環境管理責任者	各現場・事務所 全社員 全社員 各現場・事務所 各現場・事務所
Check	・ 取組状況の確認ならびに問題の是正及び予防	環境管理責任者	各現場・事務所
Action	・ 代表者による全体の評価と見直し ・ 環境レポートの作成	代表者 EA21事務局	各現場・事務所 各現場・事務所

5-1.環境経営目標・実績

■環境負荷データ

期間：2023年7月実績

電力使用量

目標：前年度月実績1%削減

本社	単位	目標	7月	評価：達成率(%)
2022年	kWh	880	889	○
2023年			834	106

電力使用量

本社(低圧電力)	単位	目標	7月	評価：達成率(%)
2022年	kWh	548	554	◎
2023年			394	139

電力使用量

倉庫	単位	目標	7月	評価：達成率(%)
2022年	kWh	864	873	◎
2023年			616	140

電力使用量

倉庫(低圧電力)	単位	目標	7月	評価：達成率(%)
2022年	kWh	351	355	×
2023年			395	89

電力使用量

現場	単位	目標	7月	評価：達成率(%)
2022年	kWh	267	0	◎
2023年			209	128

ガソリン使用量

本社	単位	目標	7月	評価：達成率(%)
2022年	ℓ	34.77	35.12	◎
2023年			0.00	

ガソリン使用量

現場	単位	目標	7月	評価：達成率(%)
2022年	ℓ	735.05	742.47	◎
2023年			523.68	140

軽油使用量

現場	単位	目標	7月	評価：達成率(%)
2022年	ℓ	1,770.78	1,788.67	○
2023年			1,753.39	101

灯油使用量

本社	単位	目標	7月	評価：達成率(%)
2022年	ℓ	0	0	
2023年			0	

灯油使用量

現場	単位	目標	7月	評価：達成率(%)
2021～2022年	ℓ	0	0	
2022～2023年			0	

水使用量

本社	単位	目標	7月	評価：達成率(%)
2022年	m3	6	6	○
2023年			5	119

水使用量

倉庫	単位	目標	7月	評価：達成率(%)
2022年	m3	22	22	◎
2023年			12	182

一般廃棄物

本社・倉庫	単位	目標	7月	評価：達成率(%)
2022年	Kg	0	0	×
2023年			16	0

産業廃棄物

倉庫・現場	単位	目標	7月	評価：達成率(%)
2022年	Kg	40,610	41,020	◎
2023年			150	27,073

120%以上・・・◎

100%以上・・・○

90%以上・・・△

90%以下・・・×

5-2.環境経営目標・実績

全社										
項 目		単 位	基 準 年 2022年度	目 標	実 績	評 価 (目標達成率)		中 長 期 目 標		
				2023年度 1% 削減				2024年度 2% 削減	2025年度 3% 削減	2026年度 4% 削減
				2022.8～ 2023.7	2023.8～2024.7			2024.8～ 2025.7	2025.8～ 2026.7	2026.8～ 2027.7
1. 電力による 二酸化炭素排出量の削減 CO ² 排出係数 0.385	本社	kWh	15,672.0	15515.3	14,958	104.8%	○	15358.6	15201.8	15045.1
		kg-CO ²	6033.7	5973.4	5758.8			5913.0	5852.7	5792.4
	古金倉庫	kWh	14,804.0	14656.0	12,326	120.1%	◎	14507.9	14359.9	14211.8
		kg-CO ²	5699.5	5642.5	4745.5			5585.5	5528.6	5471.6
	各現場	kWh	1,675.0	1658.3	4,507	37.2%	×	1641.5	1624.8	1608.0
		kg-CO ²	644.9	638.4	1735.2			632.0	625.5	619.1
2. ガソリンによる 二酸化炭素排出量の削減 CO ² 排出係数 2.32	本社	L	340.43	337.03	282.40	120.5%	◎	333.62	330.22	326.81
		kg-CO ²	789.8	781.9	655.2			774.0	766.1	758.2
	古金倉庫	L								
		kg-CO ²								
	各現場	L	5,897.92	5,838.94	5,761.78	102.4%	○	5779.96	5720.98	5662.00
		kg-CO ²	13683.2	13546.3	13,367.3			13409.5	13272.7	13135.8
3. 軽油による 二酸化炭素排出量の削減 CO ² 排出係数 2.58	本社	L								
		kg-CO ²								
	古金倉庫	L								
		kg-CO ²								
	各現場	L	16,378.89	16,215.10	20,113.45	81.4%	×	16051.31	15887.52	15723.73
		kg-CO ²	42257.5	41835.0	46,663.2			41412.4	40989.8	40567.2
4. 灯油による 二酸化炭素排出量の削減 CO ² 排出係数 2.49	本社	L	520	514.8	400.0	130.0%	◎	509.6	504.4	499.2
		kg-CO ²	1294.8	1281.9	996.0			1268.9	1256.0	1243.0
	古金倉庫	L								
		kg-CO ²								
	各現場	L	0	0.0	38.0	0.0%	×	0.0	0.0	0.0
		kg-CO ²	0.0	0.0	94.6			0.0	0.0	0.0
二酸化炭素 排出量合計	全対象	kg-CO ²	70403.4	69699.4	74015.9			68995.4	68291.3	67587.3
5. 水道水使用量の削減	本社	m ³	56.0	55.4	65.0	86.2%	×	54.9	54.3	53.8
	古金倉庫		202.0	200.0	174.0	116.1%	○	198.0	195.9	193.9
6. 一般廃棄物排出量の削減	本社	kg	50.35	49.8	91.7	54.9%	×	49.3	48.8	48.3
	古金倉庫									
7. 産業廃棄物排出量の削減	本社	kg								
	古金倉庫		14610.0	14463.9	23140.0	63.1%	×	14317.8	14171.7	14025.6
8. 地域貢献活動の推進	本社	回	年3回実施	年3回実施	年3回実施	100%	○	年3回実施	年3回実施	年3回実施
9. 環境教育の推進	本社	回	年3回実施	年3回実施	年3回実施	100%	○	年3回実施	年3回実施	年3回実施
10. 各現場における顧客・ 第三者クレームゼロ化	全対象	件	0	0	0	100%	○	0	0	0

120%以上・・・◎

100%以上・・・○

90%以上・・・△

90%以下・・・×

6.主な環境負荷の実績

環境経営実績グラフ

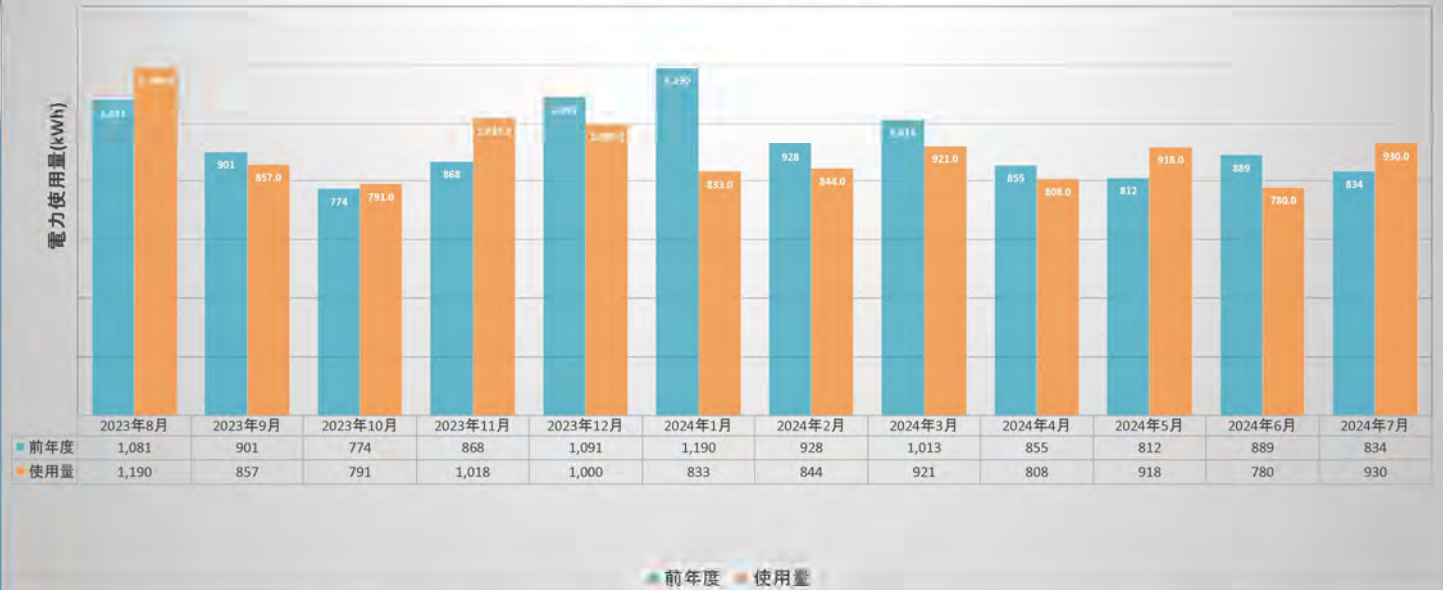
電力1 本社

購入先：九州電力株式会社

排出係数：0.385 kg-CO2/kW 平均単価：30.4 円/kWh

項目	単位	2023年8月	2023年9月	2023年10月	2023年11月	2023年12月	2024年1月	2024年2月	2024年3月	2024年4月	2024年5月	2024年6月	2024年7月	合計	月平均
使用量	kWh	1,190	857	791	1,018	1,000	833	844	921	808	918	780	930	10,890	907.5
料金	円	30,684	22,984	24,227	30,270	29,801	25,362	25,672	27,725	24,759	29,627	26,977	33,228	331,316	27,610
CO2排出量	kg-CO2	458.15	329.95	304.54	391.93	385.00	320.71	324.94	354.59	311.08	353.43	300.30	358.05	4,192.65	349.39
		前年度	1,081	901	774	868	1,091	1,190	928	1,013	855	812	889	834	11,236

月別 本社電気使用量



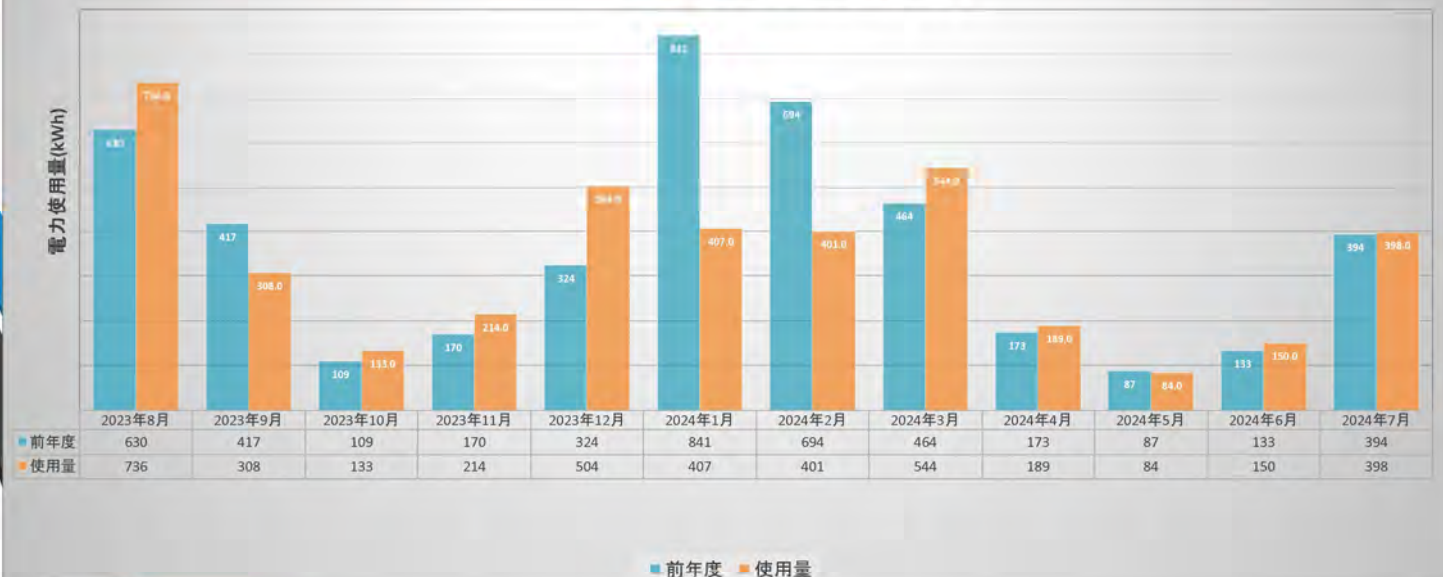
電力2 本社_低圧電力

購入先：九州電力株式会社

排出係数：0.385 kg-CO2/kW 平均単価：44.5 円/kWh

項目	単位	2023年8月	2023年9月	2023年10月	2023年11月	2023年12月	2024年1月	2024年2月	2024年3月	2024年4月	2024年5月	2024年6月	2024年7月	合計	月平均
使用量	kWh	736	308	133	214	504	407	401	544	189	84	150	398	4,068	339.0
料金	円	19,663	13,881	11,847	12,998	17,446	15,963	15,879	18,075	12,638	11,195	12,609	18,712	180,906	15,076
CO2排出量	kg-CO2	283.36	118.58	51.21	82.39	194.04	156.70	154.39	209.44	72.77	32.34	57.75	153.23	1,566.18	130.52
		前年度	630	417	109	170	324	841	694	464	173	87	133	394	4,436

月別 本社電気(低圧電力)使用量



環境経営実績グラフ

電力3 古金倉庫

購入先:

九州電力株式会社

排出係数:

0.385

kg-CO2/kW

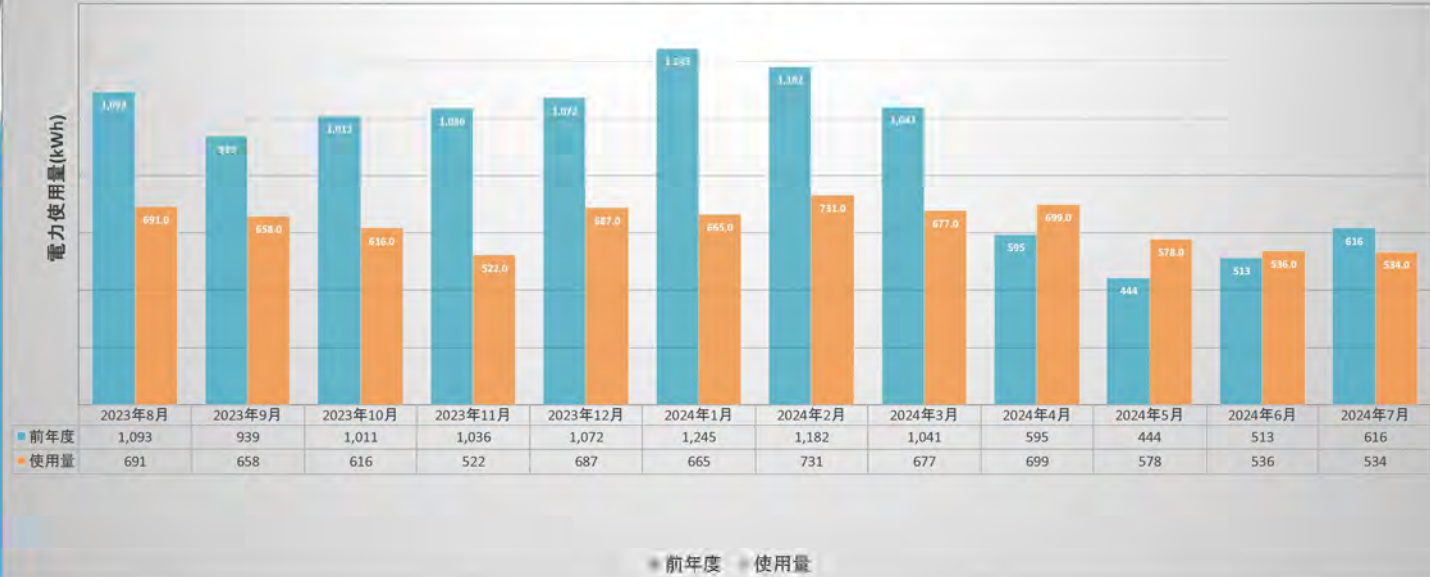
平均単価:

21.5

円/kWh

項目	単位	2023年8月	2023年9月	2023年10月	2023年11月	2023年12月	2024年1月	2024年2月	2024年3月	2024年4月	2024年5月	2024年6月	2024年7月	合計	月平均
使用量	kWh	691	658	616	522	687	665	731	677	699	578	536	534	7,594	632.8
料金	円	14,826	13,319	13,556	10,941	14,185	13,627	15,168	13,922	14,199	13,793	11,971	14,117	163,624	13,635
CO2排出量	kg-CO2	266.04	253.33	237.16	200.97	264.50	256.03	281.44	260.65	269.12	222.53	206.36	205.59	2,923.69	243.64
前年度		1,093	939	1,011	1,036	1,072	1,245	1,182	1,041	595	444	513	616	10,787	

月別 倉庫電気使用量



電力4 古金倉庫_低圧電力

購入先:

九州電力株式会社

排出係数:

0.385

kg-CO2/kW

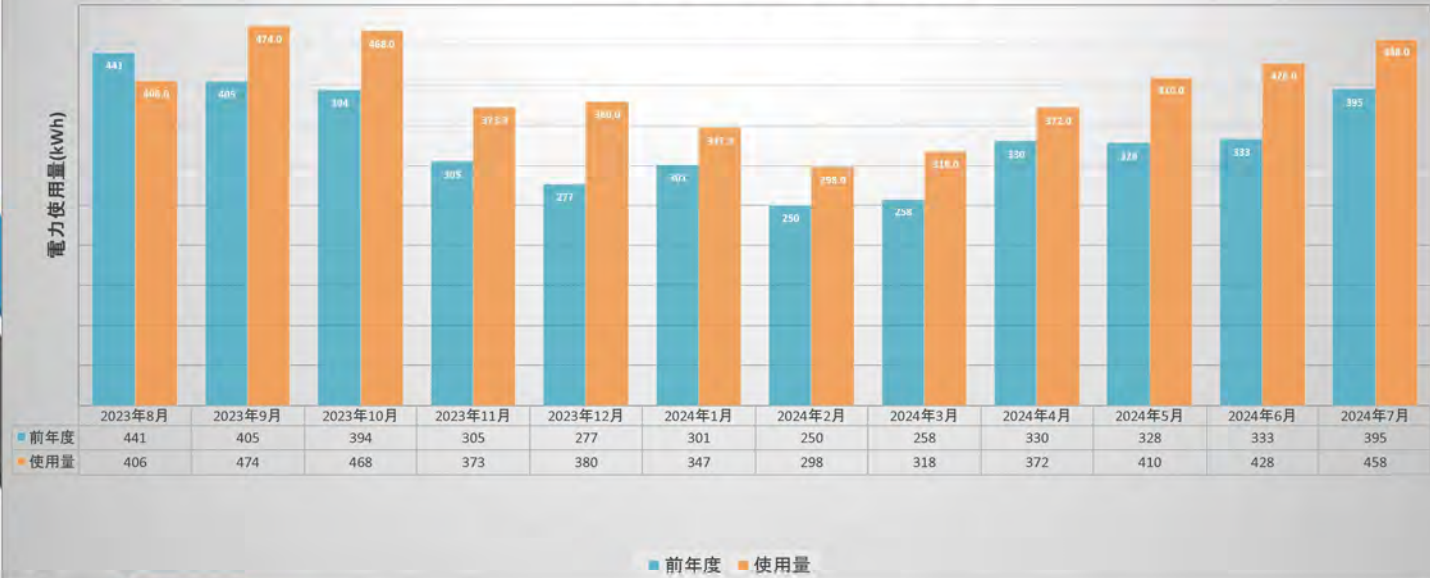
平均単価:

18.7

円/kWh

項目	単位	2023年8月	2023年9月	2023年10月	2023年11月	2023年12月	2024年1月	2024年2月	2024年3月	2024年4月	2024年5月	2024年6月	2024年7月	合計	月平均
使用量	kWh	406	474	468	373	380	347	298	318	372	410	428	458	4,732	394.3
料金	円	6,456	7,375	8,711	6,686	6,797	6,294	5,549	5,856	6,694	8,170	9,214	10,830	88,632	7,386
CO2排出量	kg-CO2	156.31	182.49	180.18	143.61	146.30	133.60	114.73	122.43	143.22	157.85	164.78	176.33	1,821.82	151.82
前年度		441	405	394	305	277	301	250	258	330	328	333	395	4,017	

月別 倉庫電気(低圧電力)使用量



環境経営実績グラフ

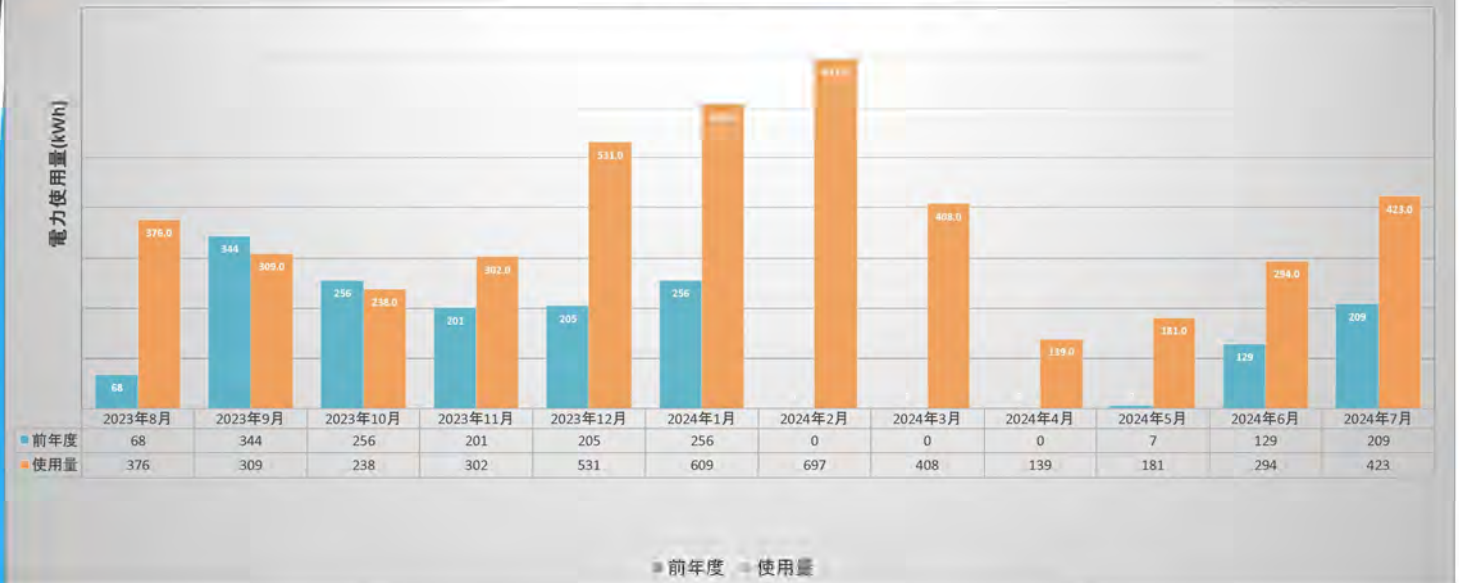
建設現場等への購入電力

電力5

設備名: 現場事務所
 排出係数: 0.385 kg-CO2/kW 平均単価: 39.0 円/kWh

項目	単位	2023年8月	2023年9月	2023年10月	2023年11月	2023年12月	2024年1月	2024年2月	2024年3月	2024年4月	2024年5月	2024年6月	2024年7月	合計	月平均
使用量	kWh	376	309	238	302	531	609	697	408	139	181	294	423	4,507	375.6
料金	円	13,894	12,233	11,303	13,155	19,957	22,172	24,342	14,113	5,707	8,210	12,985	17,904	175,975	14,665
CO2排出量	kg-CO2	144.76	118.97	91.63	116.27	204.44	234.47	268.35	157.08	53.52	69.69	113.19	162.86	1,735.20	144.60
前年度		68	344	256	201	205	256	0	0	0	7	129	209	1,675	

月別 建設現場等電気使用量



会社ガソリン

排出係数: 2.32 kg-CO2/L

項目	単位	2023年8月	2023年9月	2023年10月	2023年11月	2023年12月	2024年1月	2024年2月	2024年3月	2024年4月	2024年5月	2024年6月	2024年7月	合計	月平均
使用量	L	0.00	37.36	0.00	0.00	32.00	35.39	0.00	38.00	34.56	34.50	36.69	33.90	282.40	23.53
料金	円		6,800			5,632	6,334		6,688	6,082	6,072	6,164	5,966	49,738	4,145
CO2排出量	kg-CO2		86.68			74.24	82.10		88.16	80.18	80.04	85.12	78.65	655.17	54.60
前年度		0.00	30.00	0.00	0.00	37.80	38.20	36.00	0.00	104.38	38.05	56.00	0.00	340.43	

月別 会社ガソリン使用量



環境経営実績グラフ

建設現場等のガソリン

排出係数: 2.32 kg-CO2/L

項目	単位	2023年8月	2023年9月	2023年10月	2023年11月	2023年12月	2024年1月	2024年2月	2024年3月	2024年4月	2024年5月	2024年6月	2024年7月	合計	月平均
使用量	L	577.11	304.13	433.88	815.73	520.27	560.81	514.06	503.15	303.83	336.74	352.06	540.01	5,761.78	480.15
料金	円	106,485	55,098	74,635	89,092	91,049	98,776	89,740	88,556	53,553	59,266	62,450	94,980	963,680	80,307
CO2排出量	kg-CO2	1,338.90	705.58	1,006.60	1,892.49	1,207.03	1,301.08	1,192.62	1,167.31	704.89	781.24	816.78	1,252.82	13,367.33	1,113.94
前年度		377.60	650.84	507.87	534.26	487.48	521.32	582.45	517.16	437.84	348.11	409.31	523.68	5897.92	

月別 建設現場等ガソリン使用量



建設現場等の軽油

排出係数: 2.58 kg-CO2/L

項目	単位	2023年8月	2023年9月	2023年10月	2023年11月	2023年12月	2024年1月	2024年2月	2024年3月	2024年4月	2024年5月	2024年6月	2024年7月	合計	月平均
使用量	L	1,467.73	1,191.46	2,484.07	1,845.42	929.75	1,065.28	2,297.28	3,222.20	1,402.33	1,188.52	1,266.02	1,753.39	20,113.45	1,676.12
料金	円	230,700	182,824	372,672	259,380	137,997	155,527	333,827	480,440	208,718	175,338	188,217	260,662	2,986,302	248,859
CO2排出量	kg-CO2	3,786.74	3,073.97	6,408.90	4,761.18	2,398.76	2,748.42	5,926.98	8,313.28	3,618.01	3,066.38	3,266.33	4,523.75	46,663.20	3,888.60
前年度		2,275.45	1,465.79	1,288.93	1,631.01	1,285.38	1,406.96	955.88	1,590.63	801.26	1,453.19	945.37	1,753.39	16,853.24	

月別 建設現場等軽油使用量



環境経営実績グラフ

本社灯油

排出係数: 2.49 kg-CO2/L

項目	単位	2023年8月	2023年9月	2023年10月	2023年11月	2023年12月	2024年1月	2024年2月	2024年3月	2024年4月	2024年5月	2024年6月	2024年7月	合計	月平均
使用量	L	0.0	0.0	0.0	80.0	80.0	80.0	160.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	400.0	33.33
料金	円				9,504	9,504	9,767	19,008						47,783	3,982
CO2排出量	kg-CO2				199.20	199.20	199.20	398.40						996.00	83.00
前年度		0.0	0.0	0.0	80.0	140.0	180.0	80.0	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

灯油使用量



建設現場等の灯油

排出係数: 2.49 kg-CO2/L

項目	単位	2023年8月	2023年9月	2023年10月	2023年11月	2023年12月	2024年1月	2024年2月	2024年3月	2024年4月	2024年5月	2024年6月	2024年7月	合計	月平均
使用量	L	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	38.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	38.0	3.17
料金	円						4,473							4,473	373
CO2排出量	kg-CO2						94.62							94.62	7.89
前年度		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

灯油使用量



環境経営実績グラフ

(1) 水使用量

種類	内訳	単位	2023年8月	2023年9月	2023年10月	2023年11月	2023年12月	2024年1月	2024年2月	2024年3月	2024年4月	2024年5月	2024年6月	2024年7月	合計
上水(工場)	使用量	m3	6.0	5.0	6.0	5.0	6.0	4.0	7.0	4.0	6.0	6.0	5.0	5.0	65.0
	料金	円	1,090	1,090	1,090	1,090	1,090	1,090	1,090	1,090	1,090	1,090	1,090	1,090	13,080
上水(倉庫)	使用量	m3	13.0	13.0	17.0	7.0	12.0	13.0	20.0	24.0	20.0	8.0	15.0	12.0	174.0
	料金	円	1,950	1,950	2,640	1,090	1,780	1,950	3,160	4,080	3,160	1,090	2,300	1,780	26,930
工業用水	使用量	m3													
	料金	円													
地下水	使用量	m3													
	料金	円													
	使用量	m3													
	料金	円													
	使用量	m3													
	料金	円													
前年度			27.0	25.0	23.0	27.0	25.0	18.0	32.0	15.0	16.0	12.0	21.0	17.0	258.0
合計	使用量	m3	19.0	18.0	23.0	12.0	18.0	17.0	27.0	28.0	26.0	14.0	20.0	17.0	239.0
	料金	円	3,040	3,040	3,730	2,180	2,870	3,040	4,250	5,170	4,250	2,180	3,390	2,870	40,010

月別 水使用量

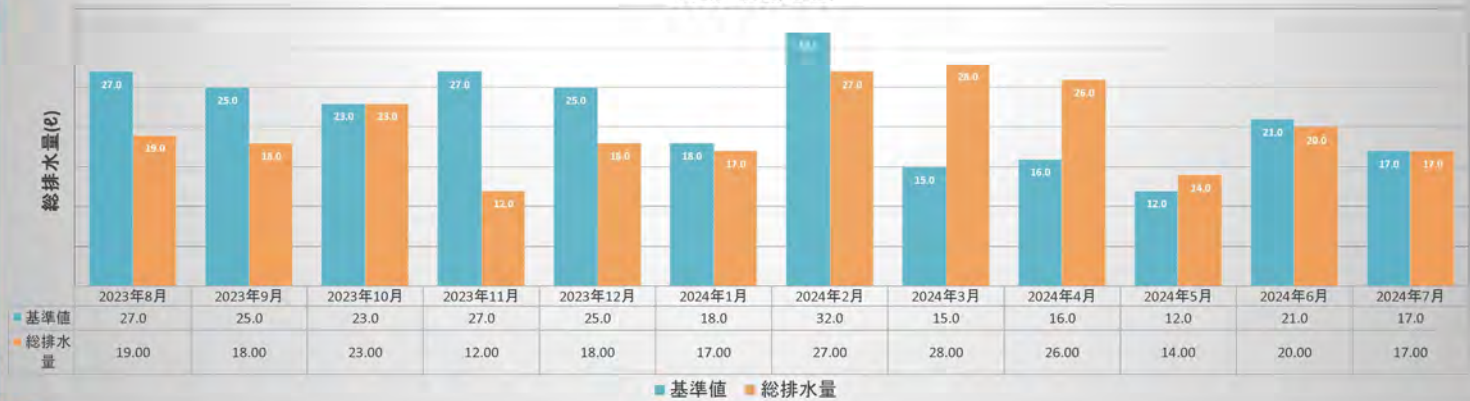


(2) 総排水量

種類	内訳	単位	2023年8月	2023年9月	2023年10月	2023年11月	2023年12月	2024年1月	2024年2月	2024年3月	2024年4月	2024年5月	2024年6月	2024年7月	合計
公共用水域	河川	排水量	m3	13.0	13.0	17.0	7.0	12.0	13.0	20.0	24.0	20.0	8.0	15.0	174.0
	湖沼	排水量	m3												
	海域	排水量	m3												
		排水量	m3												
		排水量	m3												
下水道	排水量	m3	6.0	5.0	6.0	5.0	6.0	4.0	7.0	4.0	6.0	6.0	5.0	5.0	65.0
	料金	円	1,520	1,520	1,520	1,520	1,520	1,520	1,520	1,520	1,520	1,520	1,520	1,520	18,240
前年度			27.0	25.0	23.0	27.0	25.0	18.0	32.0	15.0	16.0	12.0	21.0	17.0	
合計	総排水量	m3	19.00	18.00	23.00	12.00	18.00	17.00	27.00	28.00	26.00	14.00	20.00	17.00	239.00
	料金	円	1,520	1,520	1,520	1,520	1,520	1,520	1,520	1,520	1,520	1,520	1,520	1,520	18,240

注：公共用水域への排水にあたり、排出量料金等が必要な場合は、これを把握することが望まれます。

月別 総排水量



7.環境経営計画

1.二酸化炭素排出量の削減



取組目標	区分	責任者	達成手段
1.電気使用量削減	本社 倉庫 各現場	梶原	・昼休み、また不要な時は照明を切る。 ・就業時間外はパソコンの電源をOFFにする。 ・No残業dayは、遅くとも5時30分までには全消灯する。 ・電気、照明の消し忘れをなくす。 ・エアコンの設定温度を夏28℃、冬22℃を目標とする。 ・照明をLED化し節電に努める。
2.ガソリン 使用量削減	本社 倉庫 各現場	梶原	・車両に不要な物を載せないようにし軽量化に努める。 ・車両の整備点検を毎月行う。(オイル、空気圧点検) ・ハイブリッド車の導入を推進する。 ・車両運転時の急発進、急ハンドルをしない。
3.軽油使用量削減	本社 倉庫 各現場	梶原	・車両に不要な物を載せないようにし軽量化に努める。 ・車両、機械の整備点検を毎月行う。 ・建設機械など省エネ、排ガス対策型を使用する。 ・車両運転時の急発進、空ぶかし、急ハンドルをしない。 ・建設機械使用時は最大出力で作業をしない。
4.灯油使用量削減	本社 倉庫 各現場	梶原	・ストーブ使用時、休憩時間は電源をOFFにする。 ・ストーブの設定温度を上げすぎない。 ・効率の良い暖房機器を推奨する。(省エネラベリング制度等)

2.廃棄物排出量の削減



取組目標	区分	責任者	達成手段
1.一般廃棄物 排出量削減	本社	梶原	・コピー用紙の両面使用を徹底する。 ・分別を徹底しリサイクルに積極的に努める。 ・ペーパーレス化を推進し、必要最小限の印刷にする。
2.産業廃棄物 排出量削減	倉庫 各現場	梶原	・分別を徹底し、再利用できるものは保管しておく。 ・産廃から金属物を採取し、出来るだけ有価物とする。

3.水使用量の削減



取組目標	区分	責任者	達成手段
1.水使用量削減	本社 倉庫 各現場	梶原	・食器洗い時は、水を出しっぱなしにしない。 ・水洗トイレ使用時は、出来るだけエコ水洗機能を使う。 ・各水栓を全開せず、バルブ調整を行い節水する。 ・現場使用水は必要なだけ汲み、無駄な水道水を使用しない。

4.地域貢献活動の推進



取組目標	区分	責任者	達成手段
1.社内外清掃	本社	梶原	・年に3回、本社周辺の清掃活動を実施する。 ・週に1回、週末にデスク周りの整理・整頓を実施する。

5.環境教育



取組目標	区分	責任者	達成手段
1.環境経営の推進	本社	梶原	・掲示板にエコアクションの進捗及び啓発資料を掲示する。 ・年に3回、環境教育訓練等を行う。 ・環境経営標語を作成し、掲示板に掲載する。

6.各現場における顧客・第三者クレームのゼロ化

取組目標	区分	責任者	達成手段
1.現場情報掲示・表示	本社	梶原	・工事に関する事前説明資料の作成等。 ・施工に関する情報開示。 ・社内安全会議の実施。

8.環境経営計画の実施状況とその評価

1.二酸化炭素排出量の削減

◎・・・良く出来た ○・・・概ね出来た △・・・あまり出来なかった
×・・・ほとんど出来なかった

取 組 目 標	達 成 手 段	評 価
1.電気使用量削減	・ 昼休み、また不要な時は照明を切る。 ・ 就業時間外はパソコンの電源をOFFにする。 ・ No残業day日は、遅くとも5時30分までには全消灯する。 ・ 電気、照明の消し忘れをなくす。 ・ エアコンの設定温度を夏28℃、冬22℃を目標とする。 ・ 照明をLED化し節電に努める。	◎ ◎ ○ ○ ○ △
◇電気使用量削減に対する評価	手段は実行できたが元請の現場事務所の箇所が増えた為目標に未達。しかしながらこまめに電気を消すなど社員にも「エコ活動」に対する意識が高まっているように感じる。 照明のLED化を推進していく。	
2.ガソリン使用量削減	・ 車両に不要な物を載せないようにし軽量化に努める。 ・ 車両の整備点検を毎月行う。(オイル、空気圧点検) ・ ハイブリッド車の導入を推進する。 ・ 車両運転時の急発進、急ハンドルをしない。	○ ○ ○ ○
◇ガソリン使用量削減に対する評価	概ね実行できたと思う。 オイル点検は確実に実施できているが、空気圧点検が思うように実施されていない。 車両の不要物を載せないよう周知し軽量化に努める。	
3.軽油使用量削減	・ 車両に不要な物を載せないようにし軽量化に努める。 ・ 車両、機械の整備点検を毎月行う。 ・ 建設機械など省エネ、排ガス対策型を使用する。 ・ 車両運転時の急発進、空ぶかし、急ハンドルをしない。 ・ 建設機械使用時は最大出力で作業をしない。	○ ◎ ◎ ○ ◎
◇軽油使用量削減に対する評価	基準年度と比較し建設機械現場稼働率が増え軽油使用量が増加したと思われる。 建設機械の排ガス対策型使用とアイドリングストップの実施はできている。 機械整備も月初に実施しているので引き続き適切な機械選定を行う。	
4.灯油使用量削減	・ ストープ使用時、休憩時間は電源をOFFにする。 ・ ストープの設定温度を上げすぎない。 ・ 効率の良い暖房機器を推奨する。	◎ ◎ ◎
◇灯油使用量削減に対する評価	前回使用していなかった暖房器具を導入したため、目標には未達。 必要最小限での使用を心掛けている。	

2.廃棄物排出量の削減

◎・・・良く出来た ○・・・概ね出来た △・・・あまり出来なかった
×・・・ほとんど出来なかった

取 組 目 標	達 成 手 段	評 価
1.一般廃棄物排出量削減	・コピー用紙の両面使用を徹底する。 ・分別を徹底しリサイクルに積極的に努める。 ・ペーパーレス化を推進し、必要最小限の印刷にする。	◎ ◎ ○
◇一般廃棄物排出量 削減に対する評価	宅配便増加によるパッケージや梱包資材等の増加が未達の原因。 両面コピーを積極的に行うことができ、コピー枚数の削減はできた。 資源ゴミを分別しリサイクルに努め、社内会議資料等のペーパーレス化を実施していく。	
2.産業廃棄物排出量削減	・分別を徹底し、再利用できるものは保管しておく。 ・産廃から金属物を採取し、出来るだけ有価物とする。	◎ ◎
◇産業廃棄物排出量 削減に対する評価	現場増加に伴い、産廃量が増えた事が未達の原因。 各現場において産廃の分別は概ねできていた。分別により産業廃棄物排出量がかかり減っている。 継続して排出量削減に努める。	

3.水使用量の削減

取 組 目 標	達 成 手 段	評 価
1.水使用量削減	・食器洗い時は、水を出しっぱなしにしない。 ・水洗トイレ使用時は、出来るだけエコ水洗機能を使う。 ・各水栓を全開せず、バルブ調整を行い節水する。 ・現場使用水は必要なだけ汲み、無駄な水道水を使用しない。	◎ ◎ ○ ○
◇水使用量削減に対する評価	猛暑から、本社では打ち水や草木への散水が増えた事も未達の原因。 節水に関して意識を持ち、無駄な水の使用はなくなった。 倉庫の使用量が大幅に削減できているので引き続き節水に取り組む。	

4.地域貢献活動の推進

取 組 目 標	達 成 手 段	評 価
1.社内外清掃	・年に3回、本社周辺の清掃活動を実施する。 ・週に1回、週末にデスク周りの整理・整頓を実施する。	○ ○
◇社内外清掃に対する評価	清掃活動の実施はまだできていないが実施する予定である。 デスク周りの整理整頓はできていない人もいる。	

5.環境教育

◎・・・良く出来た ○・・・概ね出来た △・・・あまり出来なかった
×・・・ほとんど出来なかった

取 組 目 標	達 成 手 段	評 価
1.環境経営の推進	・ 掲示板にエコアクションの進捗及び啓発資料を掲示する。 ・ 年に3回、環境教育訓練等を行う。 ・ 環境経営標語を作成し、掲示板に掲載する。	○ ◎ ◎
◇環境経営の推進に対する評価	啓発資料及び環境標語の掲示は概ねできている。 環境教育訓練の実施もできている。エコ意識が向上している。	

6.各現場における顧客・第三者クレームのゼロ化

取 組 目 標	達 成 手 段	評 価
1.現場情報掲示・表示	・ 工事に関する事前説明資料の作成等。 ・ 施工に関する情報開示。 ・ 社内安全会議の実施。	◎ ◎ ◎
◇環境経営の推進に対する評価	達成手段を遂行しクレームゼロ化が出来ている。	

評価者：佐藤純子

9.環境経営計画の次年度取組計画

1.二酸化炭素排出量の削減



取組目標	取組内容	次年度の取組計画
1.電気使用量削減	・昼休み、また不要な時は照明を切る。 ・就業時間外はパソコンの電源をOFFにする。 ・No残業dayは、遅くとも5時30分までには全消灯する。 ・電気、照明の消し忘れをなくす。 ・エアコンの設定温度を夏28℃、冬22℃を目標とする。 ・照明をLED化し節電に努める。	もっと社員にエコ活動の意識を高めさせ、目標を継続して取り組む。
2.ガソリン 使用量削減	・車両に不要な物を載せないようにし軽量化に努める。 ・車両の整備点検を毎月行う。(オイル、空気圧点検) ・ハイブリッド車の導入を推進する。 ・車両運転時の急発進、急ハンドルをしない。	空気圧点検の実施喚起を行う。 車両の軽量化に努める。 エコ運転の推進。
3.軽油使用量削減	・車両に不要な物を載せないようにし軽量化に努める。 ・車両、機械の整備点検を毎月行う。 ・建設機械など省エネ、排ガス対策型を使用する。 ・車両運転時の急発進、空ぶかし、急ハンドルをしない。 ・建設機械使用時は最大出力で作業をしない。	不要物を車内に載せないよう注意喚起を行う。 エコ運転の推進。
4.灯油使用量削減	・ストーブ使用時、休憩時間は電源をOFFにする。 ・ストーブの設定温度を上げすぎない。 ・効率の良い暖房機器を推奨する。(省エネラベリング制度等)	省エネ意識を高め温度調整を確実に行う。

2.廃棄物排出量の削減



取組目標	取組内容	次年度の取組計画
1.一般廃棄物 排出量削減	・コピー用紙の両面使用を徹底する。 ・分別を徹底しリサイクルに積極的に努める。 ・ペーパーレス化を推進し、必要最小限の印刷にする。 ・再生紙の購入推進。	無駄なコピー削減するためペーパーレス化の推進を行う。
2.産業廃棄物 排出量削減	・分別を徹底し、再利用できるものは保管しておく。 ・産廃から金属物を採取し、出来るだけ有価物とする。	産業廃棄物分別は継続して取り組む。

3.水使用量の削減



取組目標	達成手段	次年度の取組計画
1.水使用量削減	・食器洗い時は、水を出しっぱなしにしない。 ・水洗トイレ使用時は、出来るだけエコ水洗機能を使う。 ・各水栓を全開せず、バルブ調整を行い節水する。 ・現場使用水は必要なだけ汲み、無駄な水道水を使用しない。	継続して水使用削減に取り組む。

4.地域貢献活動の推進



取組目標	達成手段	次年度の取組計画
1.社内外清掃	・年に3回、本社周辺の清掃活動を実施する。 ・週に1回、週末にデスク周りの整理・整頓を実施する。	継続して目標に取り組む。 デスク周りの清掃については社員にもっと徹底させる。

5.環境教育



取組目標	達成手段	次年度の取組計画
1.環境経営の推進	・掲示板にエコアクションの進捗及び啓発資料を掲示する。 ・年に3回、環境教育訓練等を行う。 ・環境経営標語を作成し、掲示板に掲載する。	目標を継続していく。

10.環境関連法規の遵守状況、訴訟の有無

作成日	令和5年3月22日
更新日	令和6年7月31日
作成者	梶原 潤児
承認者	佐藤 大輔
遵守評価実施日	令和6年9月10日
評価者	佐藤 純子

法令等の名称	当社に適用される要求事項	対象設備・施設	評価時期	確認方法	確認結果 要○印
廃棄物処理法	・産業廃棄物の保管基準	一般廃棄物 産業廃棄物	日常点検	現物監視	○適・否
	・産業廃棄物の委託基準		毎年8月	委託契約書	○適・否
	・産業廃棄物管理票		毎年8月	マニフェスト	○適・否
	・産業廃棄物管理票交付等状況報告		毎年8月	届出控	○適・否
	・産業廃棄物処理計画及び実施報告		適用なし		
	・収集運搬車の表示		日常点検	現物監視	○適・否
資源有効利用促進法	・特定再利用業種	土砂、コンクリート塊 アスファルト・コンクリート塊、 木材等	毎年8月	マニフェスト	○適・否
	・指定副産物		毎年8月	マニフェスト	○適・否
建設リサイクル法	・建設工事の事前届出(公共工事)	各工事現場	各工事毎	計画届出控	○適・否
騒音規制法	・特定建設作業の届出(対象公共工事)	各工事現場	各工事毎	届出控	○適・否
振動規制法	・特定建設作業の届出(対象公共工事)	各工事現場	各工事毎	届出控	○適・否
排出ガス対策型建設機械の 普及促進に関する規程	・対象事業が公共工事の場合	建設機械	日常点検	ステッカーの確認	○適・否
低騒音型・低振動型建設機械の 普及促進に関する規程	・対象事業が公共工事の場合	建設機械	日常点検	ステッカーの確認	○適・否
道路交通法	・道路使用の許可(対象公共工事)	各工事現場	各工事毎	届出控	○適・否
道路法	・道路占用の許可(対象公共工事)	各工事現場	各工事毎	届出控	○適・否
道路運送車両法	・日常点検整備	所有車	日常点検	現物監視	○適・否
	・定期点検整備		毎年8月	車検証	○適・否
浄化槽法	・設置等の届出 ・点検、清掃・検査	各設置場所	各工事毎	建築確認申請書控	○適・否
フロン排出抑制法	・業務用エアコン等の定期点検	各事務所	年4回	点検表	○適・否

- 1.遵守状況をチェックした結果、環境関連法規の違反はありません。
- 2.実施期間にわたり、関係機関からの違反等の指摘及び訴訟はありません。
- 3.第三者からの苦情はありませんでした。

11.環境活動への取組状況

廃棄物再生資源の向上



水使用量の削減



電力消費量の削減



環境意識向上



エコドライブ推進 二酸化炭素排出量削減対策



社内及び社外 環境美化清掃活動等



12.代表者による全体評価と見直しの結果

実施日：令和6年9月20日

環境経営情報	環境経営管理責任者の所見	代表者のコメント
① 環境経営関連法規等の遵守状況確認結果	問題なく対応、実行できている。	継続して実施していく。
② 環境経営目標の達成状況	産業廃棄物の排出量が大幅に増加しているが、増加理由として建設現場の伐採木排出量が起因している。 産業廃棄物の適切な分別を実施していきたい。	環境への意識も高まっており、目標値に向けて社員一丸となり達成していく。
③ 環境経営計画の実施状況	問題なく対応、実施できている。	問題なく対応できている。
④ 問題点の是正、予防の状況	定期的に会議を実行し協議・対処できている。 達成手段の再周知を行い環境対策に取り組んでいく。	月初に社内会議を実施しており、意見交換の場を設け社員全体の意識高揚に努める方針である。
⑤ 外部からの苦情の有無及び対応結果	特になし。	特になし。
⑥ 環境経営上の緊急事態の訓練結果及び対応結果	訓練を実施しており、今後も継続する。	現場対応の緊急事態訓練の実施を行うよう取り組んでいきます。
⑦ その他	SDG s への取組みを積極的に実施する。 実施体制は機能的であった。	小さな努力が大きな成果となります。 今後も環境保全活動に積極的に取り組んでいきます。 実施体制は維持する。